

授 業 概 要

【授業科目名】 国際看護学・災害看護

【学 年】 3 年次

【担当者】 非常勤講師

【単位数】 1 単位

【時間数】 30/30 時間 (1 回 2 時間)

(当該領域の実務経験あり)

【学習目標】《国際看護学》

1. 国際看護の定義や基礎知識を理解する。
2. 世界の健康問題・保健・看護の現状を理解し看護の必要性を理解する。
3. 国際保健政策や国際看護活動を理解する。

【学習目標】《災害看護》

1. 防災に対する自己の認識を高め、災害看護への関心を高める。
2. 災害医療・看護の概要と看護師の役割を理解する。
3. 被災者の心理的ケアの必要性を理解する。
4. 災害直後に必要な基本的技術がわかる。

回	授業内容	授業方法
1 2 3	1. 国際看護学とは (1) 国際看護学の対象 (2) 国威再協力とは (3) 国際人憲法と国際人道法 (4) 難民条約 2. 開発途上国を看護 (1) 貧困の定義と状況 (2) 貧困と死因 (3) 保健衛生 (4) 子どもの健康問題 (5) 感染症 3. 開発途上国における国際看護の実際 GW：事例を基に必要な看護を考える 4. グループワーク内容の発表・まとめ 5. 世界における災害と難民・国内避難民の現状 6. 国際救助活動の基本理念 7. 近年の特徴的な救助活動の概要	講義 DVD 視聴
4 5	(1) 被災現場の映像などを視聴し、実際を知る。 (2) 千葉県、木更津市、君津市、富津市、袖ヶ浦市の防災対策を調べる。 (3) 各グループワーク内容を発表 (4) まとめ	DVD 視聴 GW 講義
6 7	(1) 災害の定義、災害の種類と健康障害 (2) 災害医療の特徴 (3) 国内の救援活動の現状と課題	講義

	(4) 災害拠点病院の役割	
8	災害看護の役割と活動	講義
9	(1) 災害サイクルと看護活動 (2) 活動の場に応じた看護活動 (3) 国際支援	
10	(1) 被災者の不安・苦痛 (2) PTSD (3) 避難所・仮設住宅での生活が健康に及ぼす影響	
11	演習	演習
12	(1) 災害時の応急処置、運搬の方法 (2) 心肺蘇生法 (CPR・AED)	
13	演習	演習
14	災害現場における負傷者のトリアージ	
15	試験	

【テキスト・参考書】

『災害看護学・国際看護学』（医学書院）

【成績評価方法】

筆記試験

授 業 概 要

【授業科目名】 国際看護学・災害看護学 《国際看護学》

【学 年】 3年次

【単位数】 1単位

【時間数】 6/30 時間（1回2時間）

【担当者】 非常勤講師

（当該領域の実務経験あり）

【学習目標】

1. 国際看護の定義や基礎知識を理解する。
2. 世界の健康問題・保健・看護の現状を理解し看護の必要性を理解する。
3. 国際保健政策や国際看護活動を理解する。

回	授業内容	授業方法
1 2 3	1. 国際看護学とは (1) 国際看護学の対象 (2) 国威再協力とは (3) 国際人憲法と国際人道法 (4) 難民条約 2. 開発途上国を看護 (1) 貧困の定義と状況 (2) 貧困と死因 (3) 保健衛生 (4) 子どもの健康問題 (5) 感染症 3. 開発途上国における国際看護の実際 GW：事例を基に必要な看護を考える 4. グループワーク内容の発表・まとめ 5. 世界における災害と難民・国内避難民の現状 6. 国際救助活動の基本理念 7. 近年の特徴的な救助活動の概要	講義 DVD 視聴
4	試験	

【テキスト・参考書】

『災害看護学・国際看護学』（医学書院）

【成績評価方法】

筆記試験

授 業 概 要

【授業科目名】 国際看護学・災害看護学《災害看護》

【学 年】 3年次

【単位数】 1単位

【時間数】 24/30時間（1回2時間）

【担当者】 非常勤講師

（当該領域の実務経験あり）

【学習目標】

1. 防災に対する自己の認識を高め、災害看護への関心を高める。
2. 災害医療・看護の概要と看護師の役割を理解する。
3. 被災者の心理的ケアの必要性を理解する。
4. 災害直後に必要な基本的技術がわかる。

回	授業内容	授業方法
1	(1)被災現場の映像などを視聴し、実際を知る。	DVD 視聴
2	(2)千葉県、木更津市、君津市、富津市、袖ヶ浦市の防災対策を調べる。 (3)各グループワーク内容を発表 (4)まとめ	GW 講義
3	(1)災害の定義、災害の種類と健康障害	講義
4	(2)災害医療の特徴 (3)国内の救援活動の現状と課題 (4)災害拠点病院の役割	
5	災害看護の役割と活動	講義
6	(1)災害サイクルと看護活動 (2)活動の場に応じた看護活動 (3)国際支援	
7	(1)被災者の不安・苦痛 (2)PTSD (3)避難所・仮設住宅での生活が健康に及ぼす影響	講義
8	演習	演習
9	(1)災害時の応急処置、運搬の方法 (2)心肺蘇生法（CPR・AED）	
10	演習	演習
11	災害現場における負傷者のトリアージ	
13	筆記試験 まとめ	

【テキスト・参考書】

『災害看護学・国際看護学』（医学書院）

【成績評価方法】

筆記試験

授 業 概 要

【授業科目名】看護管理

【学 年】3年次

【担当者】専任教員、非常勤講師

【単位数】1単位

【時間数】30時間（1回2時間）

（当該領域の実務経験あり）

【学習目標】

1. 看護管理の目的とその過程を理解する。
2. 看護・看護管理に関する法律、法的責任、職業倫理を理解する。
3. 病院組織での看護管理実践に必要な基本的知識・技術を学ぶ。
4. スタッフナースに求められる管理的役割を学ぶ。
5. チーム医療における看護師の専門性が理解できる。
6. 患者の権利と安全を保障するための方法を習得する。
7. 診療報酬に関する基礎的知識を学ぶ。

回	授業内容	授業方法
1	(1)管理とは (2)看護管理とは (3)看護職のための法律：保健師助産師看護師法 (4)看護に関する法律：医事関連法規、薬事関連法規、保健衛生・予防関係法規、 社会保険・福祉関係法規、労働関係法規 (5)行政処分について、医道審議会とは (6)倫理綱領とは、JNA、ICN	講義
2	(1)病院の法的位置づけ (2)病院の組織、職員の職種 (3)看護部門の基本的成り立ち、組織と職務 (4)目標管理について (5)人事管理、業務管理、職員教育、キャリア開発プログラム (6)各看護単位での看護管理、病棟・外来・手術室・中央材料室 (7)ライフワークバランスについて	講義
3 4	(1)指示と報告・連絡・相談 (2)リーダーシップとは (3)メンバーシップとは (4)時間管理について	講義 演習
5	(1)チーム医療：NST, ICT など (2)医療の機能分化と連携 (3)認定看護師制度、専門看護師制度 (4)地域連携パス	講義

6	(1) リスボン宣言、ヘルシンキ宣言について (2) 安全保障の重要性について (3) ケア実施に伴い生じやすい医療事故 (4) システム全体としての安全管理 <ul style="list-style-type: none"> ① アフォーダンス ② 安全管理のための組織体制 ③ 労働安全衛生管理 ④ 医療事故防止のための組織的な取り組み (5) 感染防止について、身体拘束について	講義
7	(1) 診療報酬とは何か (2) 診療報酬における看護の評価	講義
8	試験	

【テキスト・参考書】

『ナーシンググラフィカ看護管理』（メディカ出版）

【成績評価方法】

筆記試験

授 業 概 要

【授業科目名】看護研究

【学 年】3年次

【単位数】1単位

【時間数】30時間（1回2時間）

【担当者】専任教員、非常勤講師
（当該領域の実務経験あり）

【学習目標】

1. よりよい看護実践をめざして看護を広く深く追求していく研究的態度を持つ。
*ここでいう研究的態度とは、看護現象を客観的、科学的、論理的に捉えようとする態度をいう。
2. 研究の基礎的知識を理解する。
3. 主題に関連する文献検索ができ、要旨を理解する。
4. 自己の看護実践によってもたらされた患者の反応を客観的、科学的、論理的に捉え、論文を作成することができる。
5. 校内看護研究発表会で発表ができる。

回	授業内容	授業方法
1	1. 看護研究の意義 2. 看護研究の目的・方法	講義
2	1. ケーススタディとは 1) ケーススタディの目的 2) ケーススタディの構成要素 2. ケーススタディの進め方 個人情報取り扱い方 学習内容の確認	講義
3	1. 看護における文献検索と文献行動 1) 文献検索の目的と方法 2) クリティカルシンキングとクリティーク	講義 演習
4 ～ 14	ケーススタディ演習 実習中に受け持った患者を、ケーススタディにまとめる。	演習
15	まとめ	

【テキスト・参考書】

【成績評価方法】

指定した提出物

授 業 概 要

【授業科目名】看護の統合と実践の演習

【学 年】3年次

【担当者】専任教員

【単位数】1単位

【時間数】30時間（1回2時間）

（当該領域の実務経験あり）

【学習目標】

1. 患者の状態を理解して、適切な看護技術が実施できる。
2. 複数の患者を受け持ち、優先順位を考えた行動計画が立案できる。
3. 計画に沿った看護実践中に起こる突発事項に対し、優先順位・状況判断・時間管理を判断し行動できる。
4. 自己の看護実践能力に応じ、チームメンバーと連携しながら、状況に応じた看護ケアを実践する。
5. リフレクションを通し演習内容を振り返り、分析・評価・修正し看護の統合と実践の実習に繋げることができる。
6. 演習内容から自己の傾向を知ることができる。

回	授業内容	授業方法
1 ～ 7	1. 1グループ1事例を選択し、事例の状態を理解し、適切な援助の方法を考え、担当教員に提出。 2. グループで技術練習（自己時間で） 3. 演習、振り返り、修正案を考える。	講義 GW
8 9	1. オリエンテーション、事例紹介 2. 2人の患者に実施すべきケアを計画する。 3. そのケア計画に基づいて、翌日の行動計画を実施し、担当教員に提出する。	GW
10 ～ 14	演習 1. 2名の患者への看護実践 2. 突発事項への対応 1) 予期しない患者の反応 2) 突発的な事態 3) 時間の切迫 3. リフレクション 振り返り、修正案（グループワーク） 4. 修正案の実施	GW 技術試験
15	試験	

【テキスト・参考書】

【成績評価方法】

筆記試験